

畑野 栗野江「蓮池ビオトープ」

地元の農家グループが、平成16年から栗野江長谷川沿いの休耕田を活用して、蓮池づくりに取り組んでいます。毎年丁寧に管理をし、池にはタニシやカエル、ドジョウなども住みつき、ビオトープとしての役割も期待されています。6月中旬には蓮のつぼみのまわりをホタルが舞い、7月中旬から8月中旬にかけて約70アールの蓮池に約2万本の美しい蓮が花開きます。



(写真提供) 渡邊和正さん

真野 華やかさを競う【バラ】の花 今年もきれいに咲きました



ドレに植えられたつるバラ【春風】滝のように流れ落ちている

田切須の佐々木五三郎さん宅では、今年もバラ園が賑わっています。6月10日には見頃を迎え、手作りの案内板が立てられました。

自然の地形をそのまま生かして咲かせているという【バラ】は、250種類300株にもなり、それぞれの根元には品種名を書いた竹片が付され、佐々木さんの温かい心遣いととも、訪れる人の目を楽しませてくれます。

【バラ園】は佐々木さんのご好意で無料開放され、ちょっとした名所になっています。

金井 ろうそくの灯火の中で 正法寺ろうそく能 6月23日



演目「放下僧(ほうかそう)」

「佐渡の能を識る会」主催により、「ろうそく能」が開催されました。会場の正法寺本堂には、多くの観客が詰めかけ、ろうそくの柔らかな灯火の中で演じられる能の幻想的な世界を楽しみました。この日は演能のほか、能楽評論家・国立能楽堂専門委員の松本雍さんの講演も行われました。

赤泊 また来いや!かわいい訪問者たち 6月13日

赤泊保育園・川茂保育園の園児達がスマイル赤泊へ慰問に訪れました。園児たちの合唱や元気いっぱい踊りの発表が始まると、入居者の方も一緒に口ずさんだり手拍子をして、声援を送りました。また、園児から夏らしい手作りの壁掛けが贈呈されると、「ありがとう」とうれしそうに受け取っていました。

入居者の方は、帰り際には玄関まで園児たちを見送り、保育園バスが出るまで名残惜しそうに手を振り見送っていました。



また来てくれえや

羽茂 伝統芸能に魅せられて 「羽茂まつり」にぎわう 6月15日

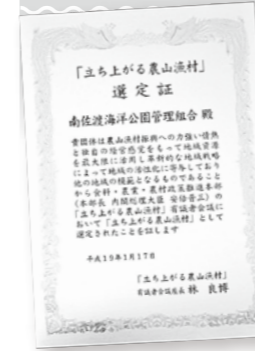


前日の雨で天候が心配されましたが、恒例の羽茂まつりが初夏の風もすがすがしく祭り日より恵まれ盛大に行われました。小学校の鼓笛隊と子供神輿を先頭に、オープニングパレードで始まり、終日歩行者天国となった商工会館前広場では各種の芸能と菅原・草薙の両神社行事で賑わいました。また、羽茂まつりならではの2種類の「つぶろさし」や草薙神社能舞台での「薪能」等をカメラに収めようと、島内外からアマチュアカメラマンが多く訪れました。



小木 「立ち上がる農山漁村」に 選定される!!

「南佐渡海洋公園管理組合」(小木地区・琴浦)は、平成元年に地元漁業者の理解を得て開放された海域で、ダイビング愛好者に海域を開放する事により漁村での交流人口を増加させた事が認められ、農林水産省から「立ち上がる農山漁村」に選定されました。5月23日の選定証授与式には代表者2名が参加し、交流会では安倍総理と記念撮影されたことなどが5月29日高野市長に報告されました。新潟県では、佐渡市のほか上越市、山北町の2団体も選定され、5月30日に県知事にも報告されました。



相川 今年で6回目となる宵乃舞 6月1日・2日



6月1日・2日、今年6回目となる宵乃舞が行われました。佐渡金山が栄えていたころメインストリートであった京町通りを舞台に、平成14年から始まったこの宵乃舞に、今年は15団体延べ333人が参加しました。午後7時に北野神社前、上町郵便局前、ふれあい集会所前の3箇所から一斉にスタート。大勢の見物客の中、相川音頭(源平軍談・心中くどき)を流していました。何といってもメインは京町通りですが、佐渡奉行所前の輪踊りも、踊り手がザッ・ザッと砂利を踏む音とともにしなる指に見物客も魅了されていました。

両津 佐渡カンゾウ祭り 6月9日・10日



願地区の大野亀台地において、第30回佐渡カンゾウ祭りが盛大に開催されました。当日は芸能大会、わかめ汁の無料サービス、トビシマカンゾウの苗の販売などが行われ、観光客を中心に多くの人々が会場を訪れました。

新穂 山野草を植栽 5月26日・27日

新穂ダムに隣接する岩の平青少年旅行村に、佐渡山草会・計良末男会長ら15名が山野草を植栽しました。岩の平青少年旅行村周辺を山野草の展示園にしようと佐渡山草会が平成15年から毎年実施しており、会員自ら育てた50種類、約150株を植栽して名札も取り付けられました。遊歩道や広場周辺の観察しやすい場所に植栽してありますので、近くへお立ち寄りの際は、ご覧になってはいかがでしょうか。



佐和田 佐渡の海を美しく! 6月2日

佐和田海岸で「八幡・銀杏の会」主催の、雪の高浜・越の松原大清掃が行われました。毎年多くの人の手で行われている活動ですが、ゴミの量は一向に減りません。自転車や、原付バイクなども捨てられており、みんなの力で引き上げました。今年は240名の会員、八幡小学校の児童、保護者に加え、両津から親子で応援に来た方もおり、環境への関心の高さが伺えました。一人ひとりが環境美化に心がけ、ゴミをポイ捨てしないようにしましょう!

